



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 ワタベウェディング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 花房 伸晃
 問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部長 (氏名) 平木 親臣 TEL 075-778-4111
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,313	3.1	△264	—	△230	—	△247	—
29年3月期第2四半期	20,677	△0.6	△247	—	△704	—	△611	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △279百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △1,159百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△24.95	—
29年3月期第2四半期	△61.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,721	10,190	42.8
29年3月期	21,336	10,540	49.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,162百万円 29年3月期 10,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 平成30年3月期の期末配当予想額は未定としております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	2.5	100	△90.0	200	△70.4	100	△19.1	10.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	9,909,400株	29年3月期	9,909,400株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	451株	29年3月期	451株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	9,908,949株	29年3月期2Q	9,909,074株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料等に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成29年11月1日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における運営状況と経営成績について、「リゾート挙式」におきましては、海外の主力エリアであるハワイにおいて、4月に“大人の社交場”をテーマとしたパーティ会場「ザ・バンケットハーバーコート」、5月に「プリンスワイキキ」の33階にハワイで唯一のスカイビューチャペルとなる「ラニレア チャペル」をオープンし、また、国内の主力エリアである沖縄においては、沖縄本島から車で行ける利便性と美しい景観が魅力の古宇利島に来夏オープンする「古宇利島 空と海の教会」の販売を8月より開始するなど、多様化する挙式形態への顧客ニーズを満たすべく施設を整えました。

加えて、顧客のサービスレベル多様化への対応も進め、顧客タイプ別に新たなリゾート挙式の価値提案を行う2つの新ブランドを本格稼働いたしました。来店不要のオンライン限定で挙式の申し込みが完結する「手軽」「低価格」がポイントの「EASY by WATABE WEDDING」の販売を5月に、一方で、旅行・挙式・衣裳・帰国後のパーティなどをトータルでプロデュースするこだわり層向けの「PLATINUM BIRTHY (プラチナ パーシー)」の販売を8月に開始いたしました。

また、昨年につき8月には、東京・渋谷に「リゾ婚café」を期間限定でオープンし、リゾート挙式の価値訴求にも注力いたしました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、ホテル雅叙園東京では、リブランドによる積極的な価値訴求により、宿泊・婚礼共に好調に推移いたしました。また、5月には人気イタリアン「リストランテ カノビアーノ」、9月にはニューアメリカングリル「カナデ テラス」の2つのレストランがオープンし、更に“和”をテーマにしたパティスリーショップ「栗杏(リアン) 1928」も9月にオープンするなど、総合ラグジュアリーシティホテルとして、食にこだわったバリエーション豊かな館内施設の充実を図りました。

メルパルクでは、婚礼組数は減少したものの、松山・横浜の客室リノベーションを行い、付加価値の向上を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高21,313百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業損失264百万円（前年同四半期営業損失247百万円）、経常損失230百万円（前年同四半期経常損失704百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失247百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失611百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

挙式取扱組数は減少したものの、上述の顧客ニーズに合わせた商品展開を行ったことなどにより、一組当たり単価が増加し、売上高は8,599百万円（前年同四半期比1.9%増）となったほか、利益面につきましては、新施設や新事業立ち上げに伴う広告宣伝費などの先行投資により、セグメント損失は234百万円（前年同四半期セグメント損失184百万円）となりました。

② ホテル・国内挙式

積極的なブランド価値訴求や客室リノベーションなどの効果により、売上高は12,714百万円（前年同四半期比3.9%増）となったほか、利益面につきましては、原価や販売管理費の削減に努めた結果、セグメント損失は44百万円（前年同四半期セグメント損失131百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,413百万円増加し、10,874百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ971百万円増加し、12,846百万円となりました。これは主に建物及び構築物の増加によるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ2,384百万円増加し、23,721百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,073百万円増加し、10,033百万円となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ1,660百万円増加し、3,497百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ2,734百万円増加し、13,530百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末に比べ349百万円減少し、10,190百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが986百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが1,729百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが2,397百万円の収入となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、7,096百万円（前年同四半期は4,192百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は986百万円（前年同四半期比102.1%増）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失289百万円等があったものの、減価償却費693百万円、前受金の増加572百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,729百万円（前年同四半期比126.8%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,611百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は2,397百万円（前年同四半期は515百万円の使用）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,800百万円、短期借入金の純増加745百万円等があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、業績は概ね計画通り推移していることから、平成29年5月11日発表の業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,436	7,101
売掛金	1,580	1,590
商品	276	285
原材料及び貯蔵品	398	401
その他	1,784	1,509
貸倒引当金	△15	△14
流動資産合計	9,460	10,874
固定資産		
有形固定資産		
貸衣裳(純額)	147	132
建物及び構築物(純額)	4,012	5,134
器具備品(純額)	999	1,172
土地	1,893	1,893
その他(純額)	630	233
有形固定資産合計	7,684	8,566
無形固定資産		
のれん	507	586
その他	496	453
無形固定資産合計	1,003	1,040
投資その他の資産		
差入保証金	2,666	2,729
その他	524	514
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,187	3,240
固定資産合計	11,875	12,846
資産合計	21,336	23,721
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,549	1,605
短期借入金	975	2,022
前受金	2,466	3,044
賞与引当金	626	489
その他	3,341	2,870
流動負債合計	8,959	10,033
固定負債		
長期借入金	—	1,440
退職給付に係る負債	1,050	1,060
資産除去債務	588	807
その他	197	189
固定負債合計	1,836	3,497
負債合計	10,796	13,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,052
利益剰余金	2,578	2,282
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,792	10,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	21
繰延ヘッジ損益	25	8
土地再評価差額金	△903	△903
為替換算調整勘定	514	501
退職給付に係る調整累計額	36	24
その他の包括利益累計額合計	△308	△347
非支配株主持分	55	27
純資産合計	10,540	10,190
負債純資産合計	21,336	23,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	20,677	21,313
売上原価	6,803	6,657
売上総利益	13,874	14,656
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	4,801	4,982
賞与引当金繰入額	390	420
退職給付費用	93	87
賃借料	2,494	2,516
その他	6,341	6,912
販売費及び一般管理費合計	14,121	14,920
営業損失(△)	△247	△264
営業外収益		
為替差益	—	97
その他	39	48
営業外収益合計	39	145
営業外費用		
為替差損	476	—
休止施設費用	—	103
その他	20	8
営業外費用合計	496	112
経常損失(△)	△704	△230
特別利益		
固定資産売却益	48	6
関係会社株式売却益	60	—
その他	2	—
特別利益合計	111	6
特別損失		
固定資産除売却損	43	1
施設店舗整理損	34	63
その他	2	—
特別損失合計	80	65
税金等調整前四半期純損失(△)	△673	△289
法人税等	△69	△48
四半期純損失(△)	△604	△240
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	6
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△611	△247

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△604	△240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
繰延ヘッジ損益	△123	△17
為替換算調整勘定	△427	△12
退職給付に係る調整額	△0	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	0
その他の包括利益合計	△555	△39
四半期包括利益	△1,159	△279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,162	△286
非支配株主に係る四半期包括利益	2	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△673	△289
減価償却費	677	693
のれん償却額	—	15
施設店舗整理損	34	63
関係会社株式売却損益(△は益)	△60	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△51	△136
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	54	6
受取利息及び受取配当金	△3	△8
支払利息	1	2
為替差損益(△は益)	301	△31
売上債権の増減額(△は増加)	45	7
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9	△31
前払費用の増減額(△は増加)	△60	△75
仕入債務の増減額(△は減少)	△123	49
未払金の増減額(△は減少)	△186	△138
前受金の増減額(△は減少)	573	572
その他	△250	291
小計	269	991
利息及び配当金の受取額	3	8
利息の支払額	△1	△4
法人税等の支払額	△283	△287
法人税等の還付額	501	279
営業活動によるキャッシュ・フロー	487	986
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△988	△1,611
有形固定資産の売却による収入	270	6
無形固定資産の取得による支出	△97	△41
差入保証金の差入による支出	△51	△124
差入保証金の回収による収入	25	64
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による支出	—	△13
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	16	—
その他	62	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△762	△1,729
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	745
長期借入れによる収入	—	1,800
長期借入金の返済による支出	△562	△62
非支配株主からの払込みによる収入	14	—
配当金の支払額	△49	△49
連結の範囲の変更を伴わない関係会社株式の取得による支出	—	△20
その他	△17	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△515	2,397
現金及び現金同等物に係る換算差額	△324	10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,114	1,664
現金及び現金同等物の期首残高	5,307	5,431
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,192	7,096

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国 内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	8,436	12,240	20,677	—	20,677
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,153	71	3,224	△3,224	—
計	11,589	12,311	23,901	△3,224	20,677
セグメント損失(△)	△184	△131	△316	69	△247

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△69百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国 内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	8,599	12,714	21,313	—	21,313
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,279	69	3,348	△3,348	—
計	11,878	12,783	24,662	△3,348	21,313
セグメント損失(△)	△234	△44	△279	14	△264

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額14百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。